

2025 年度 JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）和歌山

スタッフ育成&スキルアップ研修会の開催について

日本栄養士会は 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災をきっかけに国内外で大規模な自然災害（地震、台風など）が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うことを目的に 2012 年に JDA-DAT を設立しました。JDA-DAT は「災害発生地域において栄養に関する支援活動ができる専門的トレーニングを受けた栄養支援チーム」です。

和歌山県栄養士会では、和歌山県内に甚大な被害をもたらし、県民生活に深刻な影響を与える南海トラフの地震をはじめとする自然災害が発生した際に、県民の生命を守るために、避難所、住宅、仮設住宅等で被災者（特に乳幼児、妊婦、高齢者、食物アレルギー患者、慢性疾病者などの要配慮者）に対する栄養に関する支援活動を行うことを目的とする「災害支援対応計画」を制定し、人材育成のための研修会を開催しています。2024 年 3 月 7 日には和歌山県と災害協定を締結しました。

いつかくる大災害に備えて、栄養と食の問題を解決できる管理栄養士・栄養士としての役割を学び、JDA-DAT 和歌山のメンバーとして活動できるより多くのスタッフを育成するため、今年度から 3 年間は会員の受講料は無料（生涯教育の単位の発行は無し）となります。※非会員の方は入会の必要があります。ぜひ多くの皆さまの参加をお待ちしております。

JDA-DAT の研修は

日本栄養士会が主催する JDA-DAT リーダー育成 & スキルアップ研修会と

各都道府県栄養士会が主催する JDA-DAT スタッフ育成 & スキルアップ研修会 **があります**

JDA-DAT スタッフ育成研修の内容

災害への理解(180 分)：JDA-DAT の意義と役割、関連法令、災害の実例

栄養アセスメント(360 分)：栄養・食生活面の要配慮者のためのアセスメント及び指導

コミュニケーションスキル(180 分)：被災者を理解し、精神・心理面を注意したコミュニケーションのあり方

臨機応変の対応能力(180 分)：その場の状況を把握し、即対応する能力、自身の健康・安全管理

応急・救急措置(180 分)：その場で発生する生命（健康）危機管理時の対応能力

合計 18 時間（内 6 時間は訓練・演習研修）を修了した者を JDA-DAT スタッフとします

数年かけての受講も可能です

スタッフになったら、JDA-DAT スタッフスキルアップ研修へ（研修内容）

栄養アセスメント及びコミュニケーションスキル(180 分)：最新の情報に基づく栄養アセスメント及びコミュニケーションのあり方

臨機応変の対応能力、応急措置・救急(180 分)：状況を把握及び即対応能力の向上

合計 6 時間（内 3 時間は訓練・演習研修）＊修了ごとに修了証を発行します

JDA-DAT リーダー育成研修参加条件

JDA-DAT スタッフ育成研修を修了した者で、JDA-DAT 設立目的を理解し、和歌山県でのスタッフ育成研修会の運営や関係団体からの要請に速やかに対応できる者：研修参加費、往復の旅費（宿泊費は含まない）は和歌山県栄養士会が負担